

●子育て支援の充実

新産後ケア事業の開始・・・・・・・・・・89万円

出産直後の母親と乳児のサポート

継認定こども園等の運営支援、保育料の軽減など
・・・・・・・・・・20億2,094万円

継0歳から中学3年生までの医療費を無料化
・・・・・・・・・・3億7,455万円



5 広域公共交通網の整備

継バス交通の充実・・・・・・・・・・4億1,361万円

赤字路線の運行支援やバスICカード乗車券利用による市内
間移動の一律運賃（原則200円）の実施など

継神戸電鉄栗生線の活性化・・・・・・・・・・8,677万円

神戸電鉄福祉パスの交付や神戸電鉄栗生線活性化協議会
への支援、車両の更新助成



その他重点事業

新総合計画の策定・・・・・・・・・・1,073万円

新スマートインターチェンジの設計・・・・・・・・・・3,228万円

山陽自動車道（仮称）三木スマートインターチェンジの事業化に向けた予備設計を実施

今後の方針

市の財政は吉川町との合併以降10年間にわたり、国からの地方交付税の加算や合併特例債の発行など収入面で優遇されていたことなどにより、基金の取り崩しを最小限に抑えながらの黒字決算となっていました。

しかし、近年、総合体育館や図書館などの新たな施設を整備する一方、合併による類似施設の統廃合といった合理化を進めてきませんでした。また、既存の公共施設の老朽化もあり、修繕などの施設の維持管理費用が増えています。さらに、認定こども園などの子育て支援費や高

齢化に伴う介護サービス費などの社会保障に要する費用も増加しています。

この結果、平成30年度当初予算において12億円の基金を取り崩すことで、収支の均衡を図っているところです。この多額の収支不足を解消するため、平成30年度中に市役所自身も身を切る覚悟を持って既存事業の徹底的な見直しによる経費の抑制や、公共施設の使用料の改定による収入の確保など、中長期的視点に立ち、健全財政の確保に努めていきます。

2 地域に根ざした仕事の創出

新山田錦の品質向上や野菜の生産を支援・・・・・・・・2,956万円

・酒米「山田錦」の生産者に対して等級に応じた奨励金を交付
・野菜の生産などに対する国の交付金に上乗せ助成

拡中小企業の設備投資に対する助成・・・・・・・・4,000万円

継中小企業への融資等・・・・・・・・7億7,561万円
市内企業向けの融資制度や利子補給の実施



3 地域資源を活用した観光振興

新観光施設の整備・・・・・・・・8,570万円

道の駅みきの空調設備改修や吉川温泉よかたんの家族風呂
改修設計など

新外国人観光客の誘致に向けた「インバウンド戦略」の推進
・・・・・・・・17万円

ゴルフを核としたスポーツツーリズムのモデルプラン作成
やSNSを活用した海外への魅力発信など

継ゴルフの振興・・・・・・・・5,404万円

レディースゴルフトーナメントや1万人コンペの開催など



4 安全・安心なふるさとの構築

●防災・減災対策などの推進

新消防ポンプ自動車の更新[本署・消防団]・・・・・・・・9,500万円

新避難所となる公民館の耐震化のための設計[志染町公民館・吉川町公民館]・・・・・・・・1,600万円

新空き家実態調査などの実施・・・・・・・・2,464万円
空き家対策計画策定のための調査を実施

拡1次避難所指定の自治会集会所の耐震化助成など・・・・・・・・2,917万円

●医療・福祉の充実

継障がい者福祉の推進・・・・・・・・16億9,388万円
はばたきの丘などの施設運営や在宅介護などの障害福祉サービスの提供、手話通訳・要約筆記による日常生活の支援など

継北播磨総合医療センターの運営支援・・・・・・・・8億8,000万円